

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人藤聖母園 放課後等デイサービス事業所やまびこクラブ		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 1日		2024年 12月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19人	(回答者数) 18人
○従業者評価実施期間	2024年 11月 1日		2024年 11月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数) 5人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 31日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	○中高生中心のデイサービスなので、発達課題が近いケースが多い為、支援プログラムの内容について明確な内容を設定しやすい。	・支援者側が設定したプログラムだけではなく、子ども達の自己決定や意見を反映させた内容も設定している。	・一人ひとりの障がい特性に応じて、将来を見据えた支援内容を考えていく。 ・子どもの興味の幅が広がり、余暇支援に繋がる内容を考えて行く。
2	○地域資源を活用する機会が多い。	・公共施設、公共機関を活用する活動を企画している。 ・地域で行われるイベントの情報確認。 ・派遣講師、講演を活用して、子どもたちの参加状況を確認する。	・公共施設、公共機関と地域資源を活用する機会を増やしていく。
3	○隣接する同法人の事業所(保育園、障害者施設、老人ホーム等)と交流する機会がある。	・就労体験(掃除実習等)、壁面制作等を企画をして、交流を図る機会を設けている(交流に向けて活動の中で取り入れ、準備している)。	・交流する回数が少ないので増やしていく。 ・次年度の計画で広げる機関を組み入れていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	○事業所で取り組んでいる支援内容について、保護者へ伝えきれていない部分がある。	・支援について、活動内容についてはSNSやお便り等で発信しているものの、伝えきれていない部分がある。 ・保護者が参加する行事では参加者が限られてしまう。	・保護者が参加する行事について、保護者が興味を持つ内容等を検討していく。 ・SNSやお便りの発信頻度について検討をしていく。
2	○他機関(相談支援事業所、学校、行政機関等)と連携を図っているものの、回数が少ない。	・相談支援事業所との連携はある程度図れているものの、支援時間の関係で、学校、行政機関と集まる機会が少ない。	・面談以外で電話やオンライン等を活用しながら、連携を図る機会を増やしていく。
3			